



平成31年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(特許)

ペプチドリーム株式会社

代表取締役会長 窪田 規一

会社概要

<https://www.peptidream.com/>

所在地 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-23

設立 2006年

資本金 3,920百万円

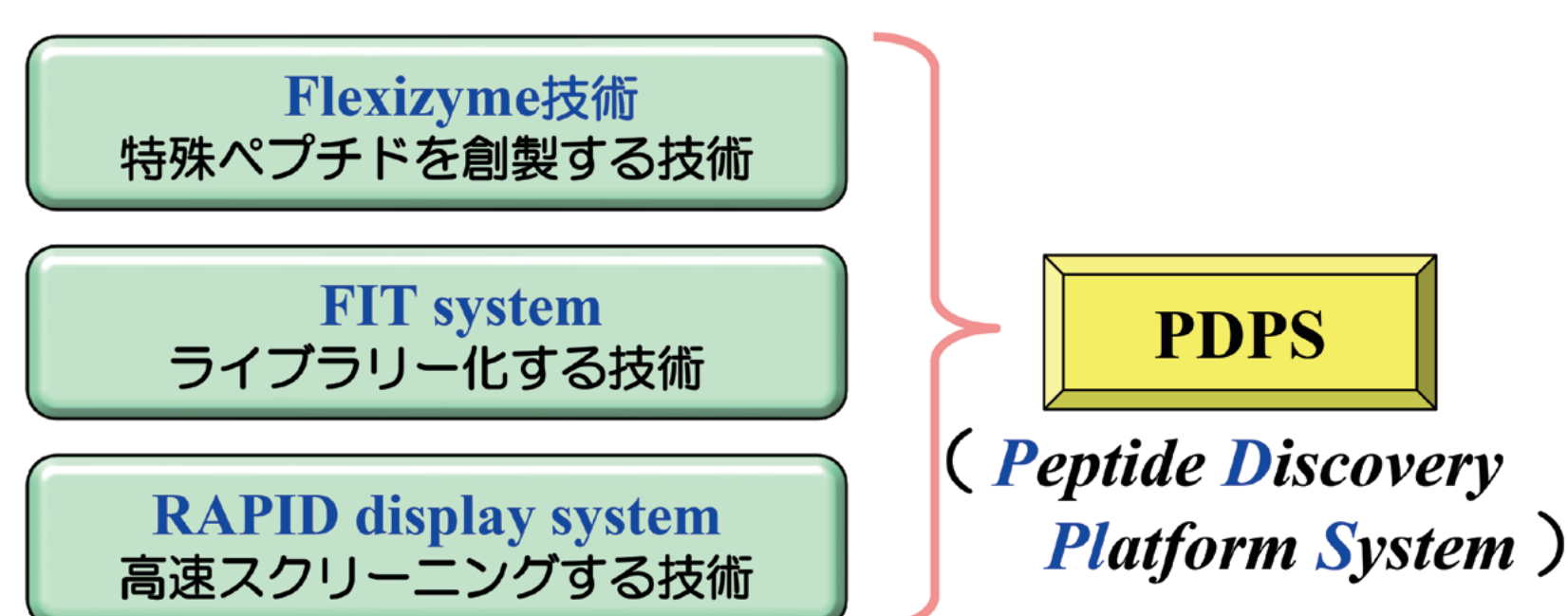
従業員 100人

事業内容 基盤技術PDPS (Peptide Discovery Platform System) をもとに、特殊ペプチド医薬品やペプチドー薬物複合体 (PDC医薬品)、低分子医薬品という3カテゴリーの新規治療薬を開発、技術供与

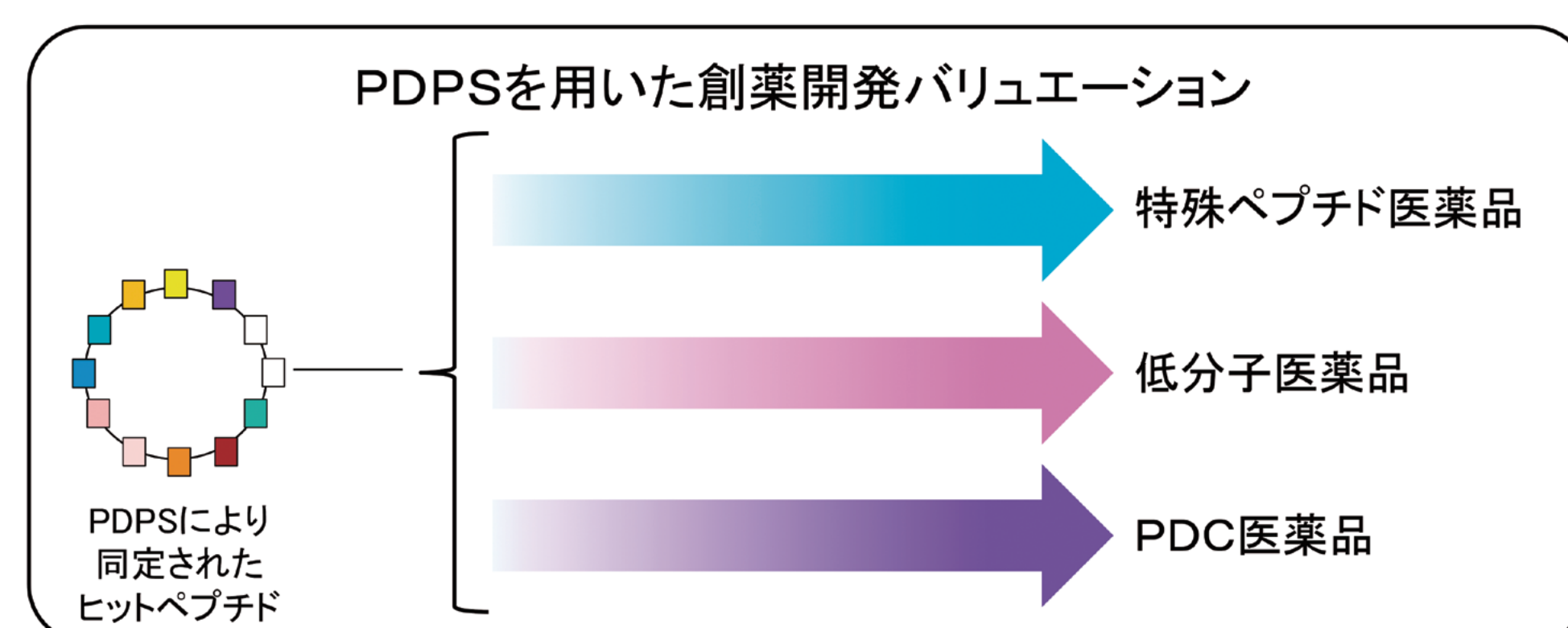


受賞のポイント

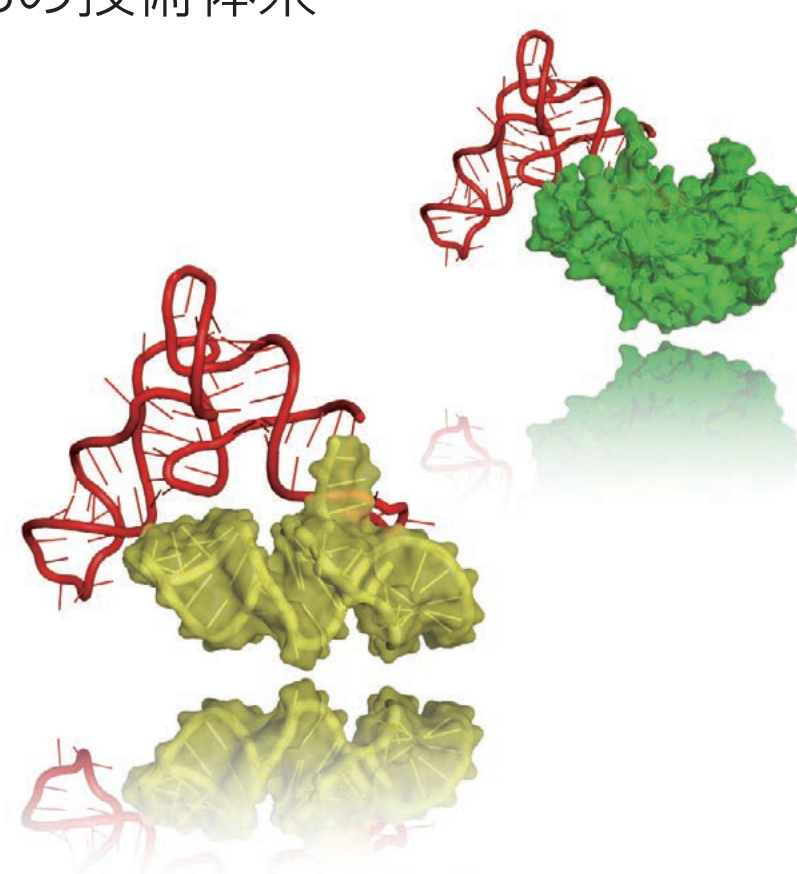
- 短期間に複数の薬の候補物質を容易に見つけるようにすることで新薬の開発コストを大きく抑制することを可能とし、3つの独自技術を柱とする特殊ペプチドを用いた創薬のためのプラットフォーム (PDPS) を確立している。PDPSの基本技術や関連技術を複数のコア特許で抑え、さらに各種ライブラリーの発明に関する特許で取り囲み、特許ポートフォリオを構築して強固な参入障壁を構築している。
- バイオや製薬業界では契約締結時に知財について厳しい審査が行われる傾向があり、少しでも特許に穴が見つかる大幅にディスカウントされてしまうため、完璧といえるまでにポートフォリオを固めてから交渉を開始している。PDPSのもたらす効果の大きさから世界のメガファーマのほとんどを含む19社の製薬企業とアライアンス契約を締結することに成功している。
- アライアンス契約は、契約時の一時金に加え、開発の節目ごとにマイルストーン収入が入るようにし、市場で販売を開始した場合は売上の一定割合のロイヤリティ収入が入る形態として、投資期間が長期に及ぶ創薬事業で、早期に安定した経営を実現している。また、PDPSを継続的にバージョンアップする研究を重ねて、その成果も特許権を取得することで特許ポートフォリオを着実に強化し、競争力を確保している。



創薬開発プラットフォームシステム：PDPSの技術体系



PDPSから見い出されたヒットペプチドを基に
3タイプの創薬開発を推進



多種多様なアミノ酸をtRNAに自在に結合させる
人工RNA触媒「フレキシザイム」